賀茂川学園
設立準備委員会だより

令和８年１１月５日
ＮＯ．６
設立準備委員会事務局

賀茂川学園の設立準備を行うため、令和５年１１月に保護者、地域、学校、行政で構成される「賀茂川学園設立準備委員会」を設置し、設立準備について協議しています。
第１０回 開催日：令和８年５月２７日（水）　第１１回 開催日：令和８年７月２７日（月）
第１２回 開催日：令和８年１０月１日（木）
※これまで、委員会の名称を「（仮称）賀茂川学園設立準備委員会」としておりましたが、令和８年９月市議会定例会において、学校の名称が「賀茂川学園」に正式に決定しましたので、今後は委員会の名称を「賀茂川学園設立準備委員会」とします。

１　賀茂川学園設立準備委員会委員について

令和８年度は、次のとおり賀茂川学園設立準備委員会委員を委嘱し、協議しました。

【ＰＴＡ】谷重忠司、楠田武志、河埜内智志、石塚沙織、吉岡大介、田村卓也、
山下美智子（〇）、堀江佳津江
【学校運営協議会】廣瀬賢兒、亀田直之、岡崎若菜、森信嘉（◎）
【地域】清田英機、閑社光、土田猛則、髙本宏幸
【学校】大隅雅浩、富本健司、山田浩美、九十九邦守
【教育委員会】岡元紀行、**【行政】**議題に応じて選出
≪◎：委員長、〇：副委員長≫

２　校歌について

⑴　内容

第１０回設立準備委員会において、校歌の制作を依頼した地域の音楽関係者である「岡田貴恵さん」から提案のあった校歌２案について、委員に視聴いただき、協議をしたうえで、多数決を取り１案に絞りました（第１案：３人、第２案１２人）。委員の中から校歌を決めるにあたっては、「実際に歌うことになる児童生徒や教職員の声も聞いたらどうか」という意見がありましたので、北部４校の児童生徒・教職員にも多数決を取りましたが、同じく第２案が多数となりました。その中での意見として、「第１案の上行（音が上に上がっていく）している旋律を第２案に入れたらどうか」等の意見がありましたので、「岡田貴恵さん」にお伝えし、校歌の最終調整を行っていただき、第１２回設立準備委員会で委員に披露しました。

⑵　校歌の歌詞

竹原市立賀茂川学園　校歌

作詞・作曲　岡田　貴恵

一　立掛山　岩見山　城山　流れる清き水
賀茂の流れは大海（たいかい）へ
進め　進め　川の如く
笑顔あふれる　賀茂川学園

二　四季の音（ね）めぐるふるさとの　色とりどりの花模様
自分らしさを咲かせよう
光れ　光れ　花の如く
夢があふれる　賀茂川学園

三　自然の恵み　包まれて　ふるさとの愛　感じとる
人のやさしさ忘れずに
挑め　挑め　風の如く
希望あふれる　賀茂川学園

3　通学支援について

⑴　通学支援の要件・内容

通学方法は、原則、徒歩または自転車（自転車は、中学校及び義務教育学校後期課程）とするが、通学距離が小学校４ｋｍ、中学校５ｋｍを超える場合（小学校及び義務教育学校１、２年生においては２．５ｋｍを超える場合）、路線バスやスクールタクシー等の通学支援を実施する。

⑵　統合後の通学支援

①　義務教育学校前期課程（小学校）の児童

ア　通学距離が４ｋｍ（１、２年生においては２．５ｋｍ）以内の場合

◇徒歩通学

イ　通学距離が４ｋｍ（１、２年生においては２．５ｋｍ）を超える場合

◇路線バスで対応できる路線は、路線バス通学（定期代全額補助）

◇路線バスで対応できない路線は、スクールタクシー通学

◇通学距離が２．５ｋｍを超え４ｋｍ以内の３、４年生において、路線バス利用する児童は、定期代１／２を補助

◆参考：東野小学校から賀茂川中学校までの距離は約２．６ｋｍ

②　義務教育学校後期課程（中学校）の生徒

ア　通学距離が５ｋｍ以内の場合

◇徒歩通学又は自転車通学

イ　通学距離が５ｋｍを超える場合

◇路線バスで対応できる路線は、路線バス通学（定期代全額補助）

◇路線バスで対応できない路線は、スクールタクシー通学

⑶　地区ごとの通学支援対象者及び方法（令和９年度想定、令和８年５月時点）（前期のみ）（単位：人）

地　区	１・２年生	うち対象者	３・４年生	うち対象者	５・６年生	うち対象者	合計	うち対象者	通学支援の方法
東野町	6	3	4	0	7	0	１７	3	路線バス（大福地⇔新庄）
新庄町	4	0	2	0	6	0	１２	0	なし
西野町	１４	1	１４	1	１０	0	３８	2	路線バス（西野大橋⇔新庄）
仁賀町	1	1	1	1	2	1	4	3	スクールタクシー（本校通学の場合）
田万里町	1	1	3	3	0	0	4	4	路線バス（竜王、田万里公民館、銀山橋⇔新庄）
合　計	２６	6	２４	5	２５	1	７５	１２	

⑷　路線バスの課題等への対応策

内　　容	対　応　策
①乗車場所（行き） ●各バス停 課題 定時にバスに乗車する必要がある。	地域、保護者等による登下校の見守りを検討。
②乗車場所（行き） ●大福地バス停 課題 １、２年生のみで乗車する必要がある。	地域、保護者等による登下校の見守りを検討。 ⇒地域による見守り
③乗車場所（行き） ●西野大橋バス停 課題 バス停までは国道の横断歩道（信号機あり）を渡る必要がある。	地域、保護者等による登下校の見守りを検討。 ⇒保護者がバス停まで送迎する見込み

内　　容	対　応　策
④降車場所（行き） ●新庄バス亭（田万里方面から降車） 課題 バス停から学校までは国道の横断歩道（信号機あり）を渡る必要がある。	登下校の見守りは、教員の業務外のため、地域等その他の見守りを検討。 ⇒徒歩通学の児童も含め、見守りの外部委託を検討中
⑤乗車場所（帰り） ●新庄バス停（東野方面へ乗車） 課題 学校からバス停までは国道の横断歩道（信号機あり）を渡る必要がある。	登下校の見守りは、教員の業務外のため、地域等その他の見守りを検討。 ⇒対象者は児童クラブ等でバスに乗車しない見込み
⑥時間（帰り） ●新庄バス停（田万里方面へ乗車） 課題 バスの発車時刻が 16 時 09 分しかなく、早下校に対応していない。	路線バスの発車時刻（現在 13 時 24 分発）を変更するようバス事業者に協議する。 ⇒14 時 59 分発を増便
⑦降車場所（帰り） ●大福地バス停 課題 ・バス停から自宅まで国道の横断歩道（信号機あり）を渡る必要がある。 ・１、２年生のみで降車する必要がある。	地域、保護者等による登下校の見守りを検討。 ⇒対象者は児童クラブ等でバスに乗車しない見込み

⑸　委員の主な意見等

意　　見	対　　応
学校統合の場合の低学年（１、２年生）の通学支援基準である２．５キロ以上を緩和できないか。	忠海学園、吉名学園等、全市的に２．５キロ以上としており、賀茂川学園のみ緩和することは難しい。ただし、昨今の夏の暑さ等を考慮し、他市町の状況も参考にしながら、今後基準について再検討していきたい。
前期課程高学年の児童は、自転車通学を認められるのか。	一般的に小学生は安全上の観点（交通事故の防止や判断能力の発達段階）から「徒歩通学」を原則としている。 また、小学生は、登校の安全上、高学年がリーダーとなり、登校班で登校しているため、高学年の自転車通学は認めていない。
荘野小学校の東側に住んでいる児童の通学路はどうなるのか。	東側の児童は陸橋まで行くと、遠回りになるので、国道２号または国道４３２号の歩道を通り、新庄交差点に行くルートを通学路とすることを考えている。
分校の児童で本校の児童クラブの利用希望がある場合、市負担による移動支援（送迎）があるのか。	市では、保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生等に対して、放課後や夏休み等に遊びや生活の場を確保し、児童の健全育成を図るため、放課後児童クラブを設置している。 一方で、小規模特認校制度においては、保護者の責任による登下校の送迎が許可条件となっているため、下校後の放課後児童クラブへの送迎についても同様に、保護者の責任において行っていただくものと考えている。そのため、市が支援を行うことは困難であり、対外的にも理解が得られないと考えている。

4　工事進捗について

工事の進捗については、社会情勢等の影響により、一部建設資材の入荷が遅延していましたが、施行順序の見直し等を行うことにより、令和８年１０月１日現在で進捗率は９０％となっております。

５　北部４校の交流について

【３小学校の５・６年生　合同体験活動】

令和８年６月３０日（火）に、賀茂川中学校で、３小学校５・６年生１８名が参加した「小中連携体験授業」を行いました。３小学校の児童たちは、九十九校長の挨拶の後、賀茂川中学校の生徒が作成したスライドを見ながら学校行事等について話をしてもらい、生徒指導の先生から中学校のきまりについて説明を受けました。その後の中学校の授業参観では、１年生と２年生の授業の様子を実際に見て、中学校の雰囲気を体感しました。また、３年Ａ組の社会科の授業を中学生と一緒に行うこともできました。今回の体験授業を通して、３小学校５・６年生は、来年からの学校生活の様子を意識するとともに、統合に向けての交流を深める良い機会となりました。



また、中学生と実際に交流したことで、互いのつながりが深まり、来年度からの学校生活への不安が期待に変わったと思います。

【３小学校の１・２年生　合同体験活動】

令和８年７月１４日（火）に、賀茂川中学校区の３小学校１・２年生が仁賀小学校に集まり、大自然あふれる環境の中、「水遊び」を通して交流を深めることができました。子どもたちの笑顔と歓声があふれ、夏の季節を存分に感じることができました。

当日は、体育館で「はじめの会」を実施した後、仁賀地域交流センター若年センター長さんの御協力を得ながら作成したペットボトルでできた水鉄砲に、一人一人がシールを貼り、世界に１つしかないオリジナル水鉄砲を作成しました。



その後、親水広場に移動し、仁賀小学校の児童手作りの的当て等を使いながら水遊びに夢中になりました。川の中では、貝を拾ったり、生き物を見つけたりして楽しんでいる子どもたちもいました。活動を通して、来年度からの統合に向けた仲間づくりができ、児童同士の絆を深める貴重な時間となりました。

【今後の交流の予定】

期日（予定）	場所	学年	内容
２月上旬	荘野小	年長児・小学校１年生	新１年生体験入学
２月３日(水)	荘野小	小学校３・４年生	合同授業・総合的な学習の時間（発表会）

６　今後の予定について

賀茂川学園設立に係る今後の予定は以下のとおりです。

内容	日時	場所	備考
学校説明会	令和９年１月 26 日(火)15:00	東野小体育館	対象：「北部４校在校生及び新入生」の保護者
入学説明会	令和９年１月 26 日(火)16:00	東野小体育館	対象：新入生の保護者
第１３回設立準備委員会	令和９年１月下旬 18:30	東野地域交流センター	
東野小学校閉校式	令和９年２月 20 日(土)午前	東野小学校	
荘野小学校閉校式	令和９年２月 27 日(土)午前	荘野小学校	
賀茂川中学校閉校式	令和９年２月 27 日(土)午後	賀茂川学園	
仁賀小学校閉校式	令和９年２月 28 日(日)午前	仁賀小学校	
賀茂川学園開校式	令和９年４月 10 日(土)午前	賀茂川学園	



賀茂川学園の設立に関する御意見御質問がありましたら、下記までお寄せください。

事務局　：竹原市教育委員会総務学事課
Tel　　：0846-22-2329
E-mail　：s-gakuji@city.takehara.lg.jp